

～公園を基点とした魅力あるまちづくりを～
**【地域連携】学生参加の公園整備計画
上尾の「ちびっこパーク」が完成**

芝浦工業大学（東京都江東区／学長村上雅人）環境システム学科 都市計画研究室（作山康教授）とデザイン工学科 都市プランニング研究室（桑田仁教授）の学生が、埼玉県上尾市大谷北部第4地区の8つの公園整備にあたり、基本コンセプトの提案など計画の策定に参画し、その1つめとなる「ちびっこパーク（仮称）」が5月に完成を迎えました。

住民に親しまれる創造的な公園をつくることによって魅力的なまちづくりの契機とすることを目的としたこのプロジェクト。計画されている大谷地区の全8カ所の公園について、上尾市から計画策定の委託を受けているNPO団体「都市づくりNPO さいたま」や住民らとワークショップを重ね、学生がコンセプトを提案して検討を重ねてきました。

2015年度はさらに2つの公園を建設予定で、学生が提案したコンセプトをベースに、公園を基点とした魅力あるまちづくりを実現するべく、行政、住民らと共に引き続き具体的に計画を進めていきます。

公園所在地：埼玉県上尾市大字壺丁目 230-2 大谷北部第四土地区画整理地内 3号公園（ちびっこパーク）



住民らとのワークショップで計画を策定



ちびっこパークのオープニングセレモニー



公園によって配置する遊具などが変わる

1. 経緯

通常、公園整備は行政が標準的な内容で整備するのが一般的ですが、大谷北部第4地区では、住民に親しまれる創造的な公園をつくることによって、魅力的なまちづくりの契機にすることを目指しています。そこで、作山教授、桑田教授もメンバーとなっているNPO団体「都市づくりNPO さいたま」が上尾市から計画策定の委託を受け、両研究室の学生がその基本コンセプトの提案を行うことになりました。

2. 計画の概要

学生たちは、住民参加によるワークショップによって意見を集約し、「緑豊かな環境づくり」「シンボルづくり」「維持管理に参加できる公園づくり」「複数の公園のネットワークづくり」という共通の基本方針を掲げ、計画されている8つの公園それぞれの利用イメージを設定、アクティビティや対象年代、シンボルツリーなどを分けて特徴を出すことにしました。そしてその提案をベースに、公園デザインの専門家らとともに具体化していきました。

5月には、その第一弾として、児童遊具と芝生広場を配した「ちびっこパーク（仮称）」が完成。主に幼児を対象としており、デザイン性の高い遊具と芝生広場を設置した、親子が安心して気軽に遊ぶことができる公園で、大谷地区の春を告げる花木を主体としてコブシの木をシンボルツリーとしました。

3. 今後の予定

今後は、他の7つの公園についても引き続き具体的な計画を進め、2015年度中にあと2つの公園を建設予定です。1つは静かな庭園をイメージしたデザインとし、健康遊具などを置いて大人が憩ったり健康体操を行ったりできるようにします。もう1つは森の散策と森遊びができるような場所とし、家族みんなで楽しめる公園を目指しています。その他にもボールパークやイベント会場、水遊びなど対象と用途に分けて多様な性格を持った公園を建設し、住民、行政、NPO、そして学生とが一体となって、地区内で1年を通して楽しめる魅力的な公園づくりを進めています。

<参考資料>

埼玉県上尾市大谷北部第4地区内の公園計画イメージ

今回竣工したのが3号街区。今年度はさらに、2号街区と7号街区の公園の建設を行う予定。

[1号街区公園イメージ] 冬

～ボールパーク～

- コンセプト
中高生の居場所づくり
- 主な活動
3on3・フットサル・ボール遊び



[2号街区公園イメージ] 秋

～秋の庭園～

- コンセプト
静かな庭園で健康体操
- 主な活動
健康遊具・井戸・お月見



[3号街区公園イメージ] 春

～こぶし公園～

- コンセプト
幼児達とピクニック
- 主な活動
児童遊具、芝生広場



[4号街区公園イメージ] 夏

～勾玉公園～

- コンセプト
まがたま広場で多目的な活動
- 主な活動
グランドゴルフ・複合遊具遊び



[5号街区公園イメージ] 春

～コミュニティ広場～

- コンセプト
地域で集まるイベントの拠点
- 主な活動
祭り・花火・防災活動・(花見)



[6号街区公園イメージ] 冬

～モミノキ公園～

- コンセプト
シンボルツリーを中心に集う
- 主な活動
イルミネーション・ピクニック・散歩



[7号街区公園イメージ] 秋

～どんぐり公園～

- コンセプト
森の散策と森あそび(できればプレーパークなど)で家族みんなが楽しむ
- 主な活動
森の中で遊ぶ・散策する



[8号街区公園イメージ] 夏

～みんな公園～

- コンセプト
丘の上で憩う、丘の上から滑る
- 主な活動
ターザンロープ・水遊び・健康歩行



この件に関するお問い合わせ・取材については

発信元：経営企画部 企画広報課 担当：土屋 〒135-8548 東京都江東区豊洲 3-7-5

TEL：03-5859-7070 FAX：03-5859-7071 E-mail：koho@ow.shibaura-it.ac.jp